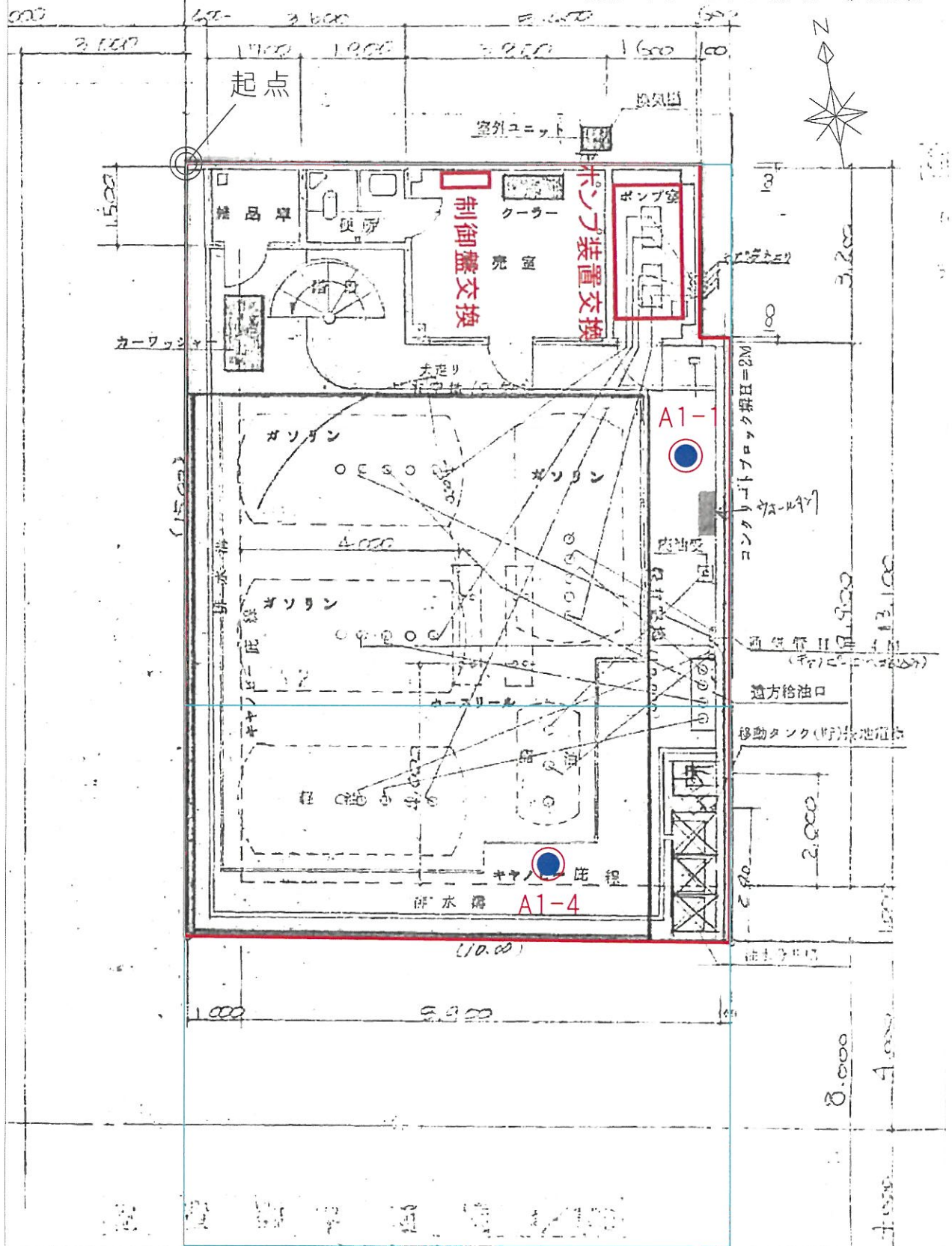


土壌汚染情報公開台帳

整理番号	1060171	調製年月日	令和8年 8月10日	契機	第116条第1項
所在地	(地番) 台東区東上野一丁目9番6 外	(住居表示) 東上野1-26-6			
訂正年月日		年 月 日			
工場又は指定作業場の名称 (土地の改変に係る事業の名称)		御徒町給油所			
汚染状況調査の方法について特筆すべき事項					
当該土地において講じられた健康被害の防止又は周辺地下水汚染拡大の防止のための措置がある場合はその内容					
当該土地に第122条第1項第2号の土壤がある場合はその旨 (汚染の原因が水面埋め立て材に由来する場合はその旨)					
当該土地が規則第54条第3項第1号に該当する場合は、その旨					
当該土地が規則第55条第3項に該当する場合は、その旨		該当なし			
当該土地が土壌汚染対策法の規定に基づき要措置区域又は形質変更要届出区域に指定された区域を含む場合は、その旨					
備考					
土壌の汚染状況	報告受理年月日	特定有害物質の種類	適合しない基準項目	汚染状況調査の受託者	
	令和8年 8月10日	鉛及びその化合物	溶出量基準	株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング	
	報告受理年月日	特定有害物質の種類	適合しない基準項目	汚染状況調査の受託者	
地下水の汚染状況	報告受理年月日	特定有害物質の種類	適合しない基準項目		
地下水の汚染状況(対象地境界)	報告受理年月日	特定有害物質の種類	適合しない基準項目	汚染状況調査の受託者	
土地の措置又は 改変状況	届出時期	着手時期	完了予定時期	完了時期	土地の措置又は改変の種類
					実施者
				土壌搬出	汚染土壌の処理方法

- 図面類
- 1 汚染状況調査の実施内容及び調査結果に係る書類等
 - 2 当該土地に係る健康被害防止又は周辺への地下水汚染の拡大防止のために講じられた措置の実施場所及び実施状況を明示した図面
 - 3 当該土地に係る汚染拡散の方法を明示した図面
 - 4 対象地周辺の地図

起点を中心に格子を9度5分25秒右回転



【凡例】

- : 対象地 (141.16㎡ CAD求積)
- : 土壌ガス採取地点 (ベンゼン) 2地点 (分析: 2検体)
- : 表層+埋設下 土壌採取地点 (鉛) 2地点 (分析: 4検体)

【単位区画の分類】

- : 単位区画 (10m格子)
- A1-1: 地点名

調査結果一覧表 土壌ガス調査

※各試料採取区画について、調査対象物質ごとの調査結果リスト選択または自由入力により記入してください。(単位)ガスppm、地下水mg/L

※記載行が足りない場合は50番目の行を追加してください。

調査対象物質		クロロエチレン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエタン	1,2-ジクロロエタン	1,3-ジクロロプロパン	ジクロロメタン	テトラクロロエタン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	ベンゼン
土壌ガス調査	調査区画数											2
	最大濃度											ND
	ガス検出区画数											0
地下水調査	試料採取等の省略											無
	調査区画数											
	最大濃度											
	基準超過区画数											
	試料採取等の省略											

連番	起点番号	試料採取区画	調査の種類	30m格子内の評価区画	調査対象物質	クロロエチレン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエタン	1,2-ジクロロエタン	1,3-ジクロロプロパン	ジクロロメタン	テトラクロロエタン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	ベンゼン
1	1	A1-1	全部		検出下限 (土壌ガス)	0.1	0.002	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.05
2	1	A1-4	全部		種類・性状値(地下水)	0.002	0.002	0.004	0.1	0.04	0.002	0.02	0.01	1	0.006	0.01
3					ガス(ppm)											ND
4					ガス(ppm)											ND
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																
23																

この行より上に行を追加してください。

(日本産業規格 A 列 4 番)

土壌ガス

試料名	A1-1	A1-4	定量下限値	基準値
分析項目				
ベンゼン (vol ppm)	ND	ND	0.05	0.05未満

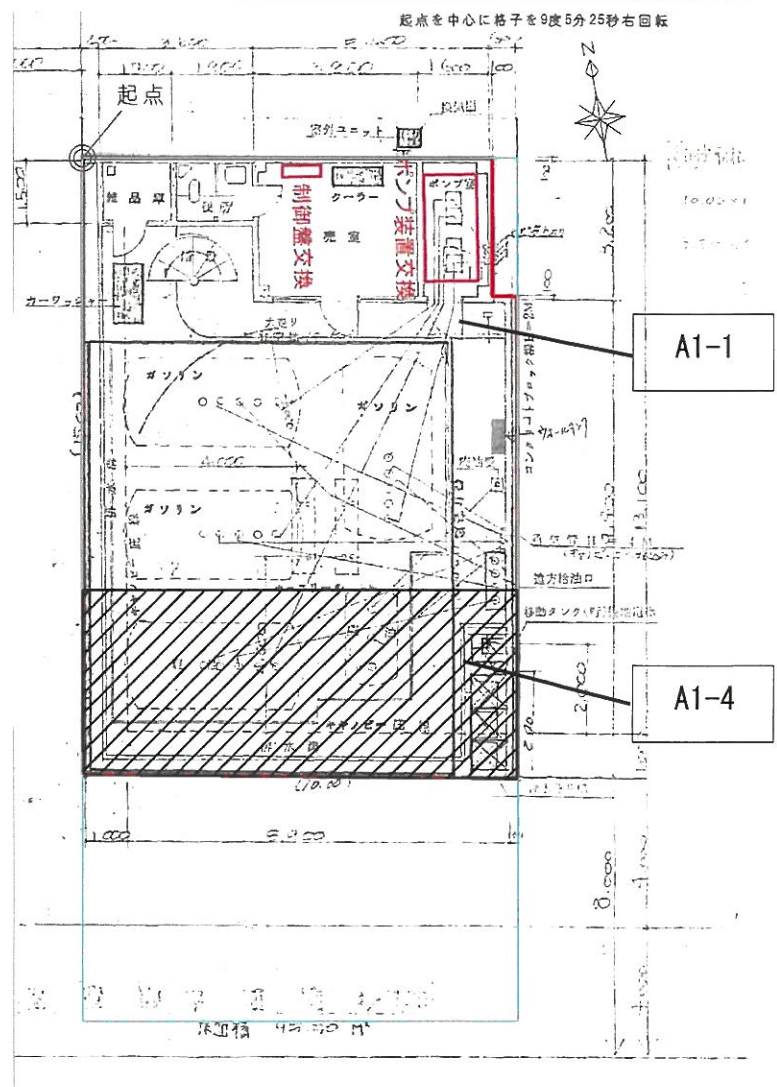
備考1：NDは定量下限値未満を示す

表層土壌

試料名	分析項目	鉛及びその化合物	
		溶出量 (mg/L)	含有量 (mg/kg)
A1-1	表層	0.002	ND
	タンク下	0.009	46
A1-4	表層	0.022	97
	タンク下	0.042	97
定量下限値		0.001	15
基準値		0.01以下	150以下

備考1：NDは定量下限値未満を示す

備考2：赤字は、基準不適合を示す



【凡例】

—: 対象地 (141.16㎡ CAD求積)

▨: 鉛 (溶出量) の基準不適合

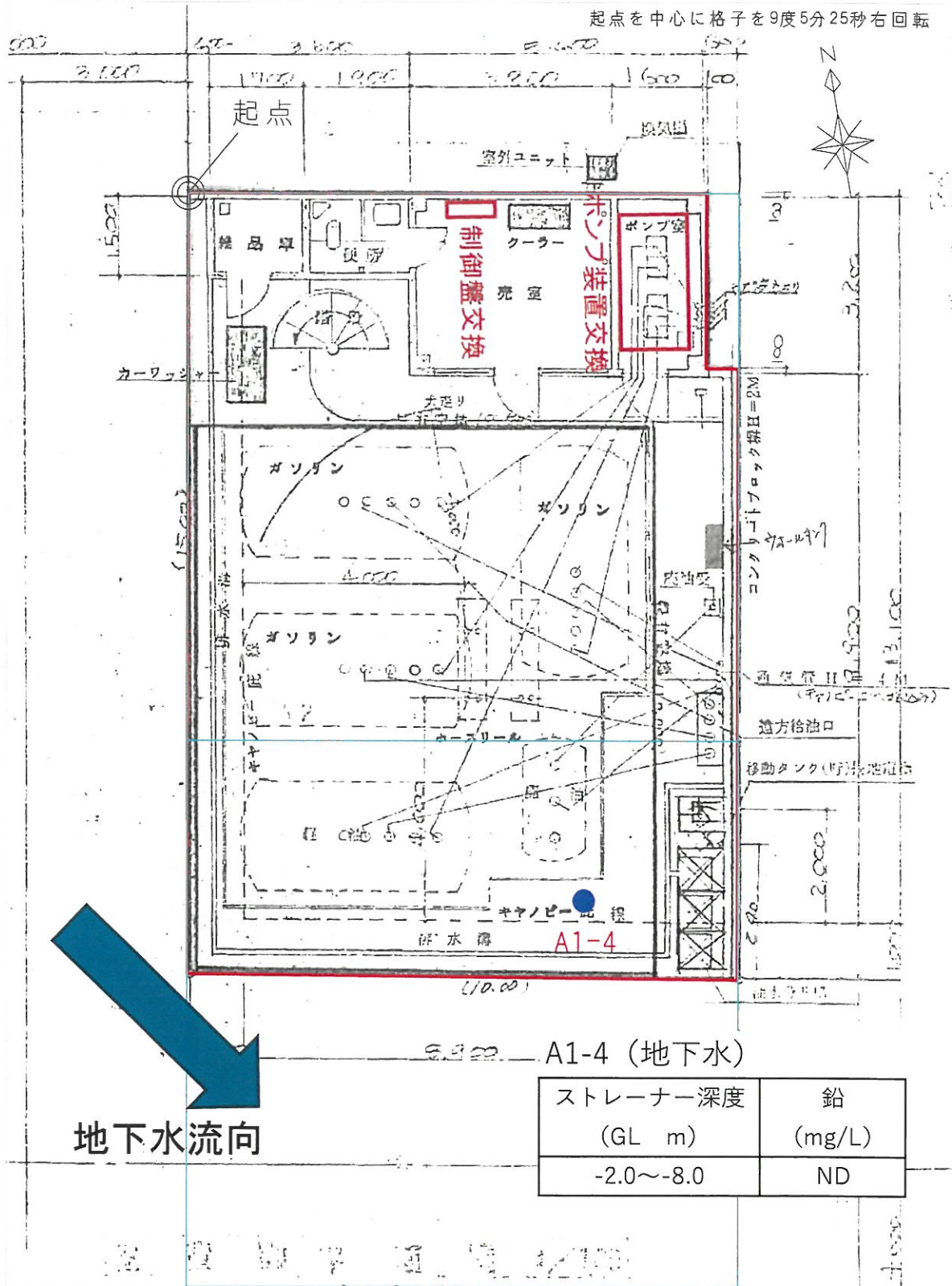
【単位区画の分類】

□: 単位区画 (10m格子)

地下水流向

A1-1 : 地点名

起点を中心に格子を9度5分25秒右回転



【凡例】

- : 対象地 (141.16㎡ CAD求積)
- : 代表地点かつ対象地境界付近における地下水採取地点 鉛 (1地点)

【単位区画の分類】

- : 単位区画 (10m格子)
- A1-1: 地点名

5

●沖積層基底等深線

地理院地図の沖積層基底等深線を確認すると、対象地付近の沖積層は周辺と比較して高い位置にあることが分かる。対象地付近は5mであり、岡田川（南東）に向かって10m、20mと深くなっていくことが分かる。

地下水は沖積層の傾斜方向に流れていると想定した場合、対象地周辺の地下水は大局的に南東側に流れていると考えられる。

